

たんぽぽ

第 61 号
令和3年1月18日発行

編集・発行
常総ボランティア連絡協議会
新石下 4365 石下総合福祉センター内
TEL. 0297-30-8789 FAX. 0297-30-8790

コロナ禍におけるサークル活動

1年以上も続くコロナ禍は、各サークルの活動にも様々な影響を及ぼしています。今後の活動の参考になればと、ボ連協で実施したアンケート結果から各サークルの活動状況をお知らせします。

なお、活動しているサークルが感染防止対策として実施している、検温、マスクの着用、スペースの確保、会場の換気など、基本的な事項については掲載を省略させていただきました。

(アンケート実施日：10月7日 対象：ボ連協登録25サークル)

活動できた3サークル

石下ぼらんていあの会、常総市シルバーリハビリ体操指導士の会、まちの研ぎやさん

- ・6月から可能な活動（マスク作製、公共施設プランター花苗植え替え、古切手整理やりサイクル活動）などを行いました。
- ・7月から可能な会場のみ、シルバーリハビリ体操を再開しています。
- ・研ぐ際の作業台は1台につき2名限定に変更して実施しています。

刃物研ぎ～まちの研ぎやさん～



- ▲ 昨年のふくし祭り。今は、あすなろの里や市保育所の調理用包丁などの依頼を受けて活動しています。

発足以来、水害はあったものの大過なく過ぎた15年。活動も2万丁を超え、これからと思った矢先のコロナ禍に閉ざされた今後。

会員の高齢化と数の漸減傾向など山積する課題の2つの山をどう乗り越えるか？前途は多難だが、ここは一番、研ぎ師らしく錆びて見えない明日を“押し”引いて。輝きが出るのを根気よく待ち続けたい。

代表 荒井 稔

全く活動できなかった2サークル

水海道手の会、ボランティアグループ プリズム

- ・安心できるようになってから活動再開を予定しています。
- ・聴覚障がい者にとっては、マスクをすることがコミュニケーションをとるうえで大変な苦勞になっています。

活動形態を変えて活動した20サークル

すぎのこ、ボナペティ、ひまわり、かな、さくら会、サークルみつま、パネルシアターハミング、陽だまり、おはなし会・あすなろ、サークルきぬ、点訳サークル てんてん、まんまる玉、コスモス、なごみ、つくし、やまゆり、JC 写輪、ふうせんの会、しらとり会、常総コカリナサークル あすなろ



- ▲ 「しらとり会」によるお茶飲み会
食事は中止でも、みんなで楽しく体を動かすことができました(^.^)

《お食事会が中止となったための取り組み》

- ・参加者宅へ訪問し、手作りのプレゼント（マスク・手芸品など）を届けました。
- ・参加者宅へ電話連絡して健康面や心配ごとなどを伺いました。
- ・お食事会中止をハガキでお知らせしたところ好評でした。
- ・手洗いの練習を全員で実施しました。
- ・10月からお茶飲み会として再開しました。
- ・12月にクリスマスプレゼントを届けに参加者宅へ訪問しました。

《サークル活動への取り組み》

- ・定例会を再開し、今後の活動について話し合いました。
- ・公演が中止のため、声を出さなくて済むように製作を中心に進めています。
- ・依頼が少ない分新しい作品に挑戦していきたい。
- ・会員だけで練習を行い、互いにアドバイスしています。
- ・点訳は自宅で行い、状況に応じて定例会を実施しています。
- ・7月から可能なときに認知症の家族と本人対象の読み聞かせ会を開いています。
- ・石下総合福祉センターロビーにて10月から「思い出の写真展」を展示、ロビー脇の展示写真を毎月交換、社協HP「今週の1枚」用の写真の提供をしています。
- ・練習場所を広い会場に変更しました。

- ▶ 「つくし」のお茶飲み会で「常総コカリナサークル あすなろ」によるコカリナ演奏。
コカリナの伴奏にあわせ手足を動かしたり、声を出さず手話を使い♪ふるさと♪を歌いました。体操にもなったかな?!(^.^)!



*参加者との距離を保っての演奏、演奏時以外はフェイスシールドとマスク着用を徹底しました。

その他のご意見

- ・聞こえに不自由を感じる方がサークル内にいらしたら、話していることをスクリーンに写して見ていただく形でお手伝いできます。(サークルきぬ)

募金のご報告

R2.1.24 開催のボ連協研修会参加の皆様から寄せられました「台風19号による災害義援金8,796円」は、茨城県共同募金会を通して被災地にお届けいたしました。
ありがとうございました。<(_)>

災害をもっと分かりやすく！
～自然災害科学実験教室～
Dr.ナダレンジャー!? 参上
ボ連協会員研修会

R2年1月24日

独特な風貌と巧みな話術をあわせ持つDr.ナダレンジャーが登場。本当は怖い災害も小さくすれば楽しく学べるということで、身近な道具を使って「雪崩」や「液状化現象」などの自然災害をミニチュア化し、わかりやすく説明していただきました。

その後、災害非常食の調理、試食を行い「最近の非常食はなかなかイケる」ことも実感しました。

つつい後回しになってしまう「防災のこと」を前向きに考える良い機会になりました。

(点訳サークル てんてん 大津 礼子)

▼ 雪崩の体験。体験だと思えば笑顔が出ますが、実際には命に関わります。



▲ 講師の Dr.ナダレンジャーこと納口恭明氏 (右) 助手のナダレンコこと樽 (もたい) 優子氏 (左)



▲ 災害時にも作りやすい献立を調理し、みんなで試食。乾物中心でしたが、とてもおいしくて、今後の参考になりました。

参加者の声(^_^)

- ・ユーモアを交えた話と実験により、災害のメカニズム（雪崩、液状化現象、ビルの揺れ方など）がよく分かりました。
- ・空き缶・紙パック・水・米があれば、ご飯が炊けるんです。実際に炊き、食べてみました。とてもおいしくてビックリ！
- ・非常食を皆で作って、一緒においしく食べて、サークル間の交流もできました。

令和2年度役員・各種委員紹介

【役員】

- 会長 永瀬 菊江 (石下ぼらんていあの会)
- 副会長 鈴木 静子 (おはなし会・あすなろ)
- 副会長 大滝 尊史 (しらとり会)
- 監事 増田 政子 (つくし)
- 監事 鈴木 典子 (ふうせんの会)
- 会計 事務局

【企画委員】

- 委員長 山崎 京子 (かな)
- 副委員長 大入 直子 (かな)
- 倉持 和美 (おはなし会・あすなろ)
- 杉山 洋子 (点訳サークル てんてん)
- 松元 正子 (点訳サークル てんてん)
- 中山 安子 (まんまる玉)

【たんぽぽ編集委員】

- 委員長 飯塚 桂子 (水海道手の会)
- 副委員長 谷田部 うめ (なごみ)
- 岡野 房子 (やまゆり)
- 長塚 彰 (やまゆり)
- 橋本 和巳 (JC 写輪)
- 小林 和美 (なごみ)
- 飯村 一枝 (常総市シルバーリハビリ体操指導士の会)



昨年度は国体おもてなしふるまい運動に協力したほか、たくさんの方のボ連協行事を企画・開催いただきありがとうございました。

令和2年度を迎えましたが、役員のご紹介もままならず、今ごろとなりました。

旧役員の方、ありがとうございました。

新役員の方、どうぞよろしくお願いいたします。

(ボ連協事務局)

「たんぽぽ」の発行について

昨年度末に発行予定がコロナの影響により編集委員会も開催することができず、この時期になっての発行となりました。記事原稿をいただきましたにもかかわらず掲載できなかった方、原稿を変更いただいた方、ほんとうに申し訳なく思います。

1年前の研修会を「あの頃は…」と懐かしく思い出していただければと思います。

なお、次号の発行時期は、コロナの状況にもよりますので「未定」となります。



すべてに影響を及ぼしている「コロナ」。誰もが我慢していると思っても先の見えない不安が…。

離れて暮らす娘に会うこともなかなか難しく、LINE と宅配便が大活躍です。でも…やっぱり、娘にも友達にも直接会って“いっぱい話をしたい！”

(飯塚)

お問い合わせは

ボ連協事務局 (社会福祉協議会) まで

TEL 30-8789 FAX 30-8790

♦たんぽぽカラー版は、社協ホームページにてご覧になれます。